

やまなし

心のバリアフリー ガイドブック

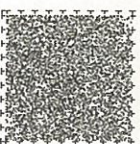
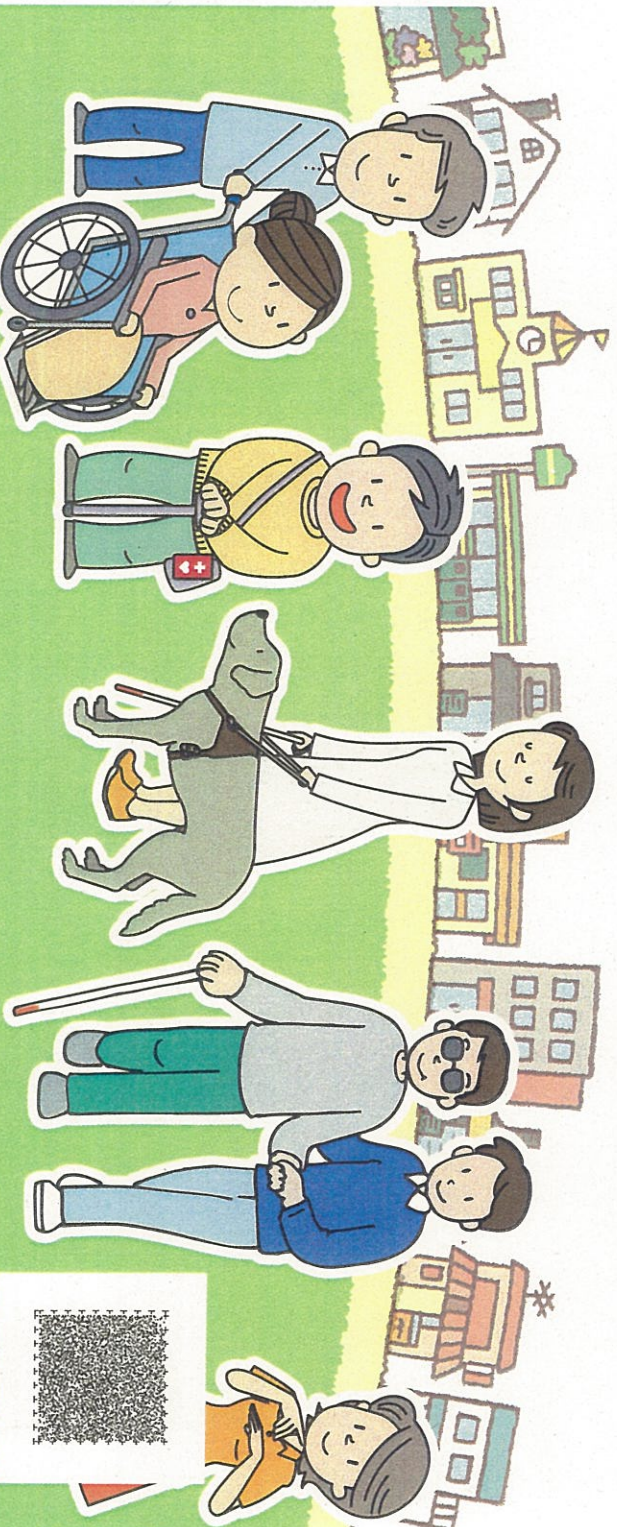


なくそう生きづらさ みんなで築こう共生社会

あなたは、心や身体こころ からだの障害しょうがいのこと、障害がある人ひとのことを、どのくらい知しっていますか？ また、街中まちなかや学校がっこう、家いえの近くちかなどで、障害がある人ひとが困こまっていたら、あなたはどうしますか？

障害しょうがいや障害がある人ひとのことをよく知らないため、「手助けてだすしたほうがよいだろうか」と思おもっても、「ほかの人が手助けてだすするだろう」とか「どのようように手助けてだすしたらよいかかわからない」などなど考えかんがてしまい、声こゑをかけるのをためらっていませんか？ または、「障害しょうがいがある人ひとは、何をなにするのかわからない危険きけんな人ひと」などという間違まちがった認識にんしきから、手助けてだすすることをやめてしまっていますか？

このガイドブックでは、**障害しょうがいがある人ひとのサポートサポートに役立やくたつ基礎知識きそちしきやコミュニケーションコミュニケーションのポイントポイントなどを紹介しょうかいしています。障害しょうがいがある人ひとは、周囲しゅういの理解りかいや手助けてだす、配りばいりよがあれば、私わたしたちと同じおなじようにできることがたくさんあります。あなたの**「手助けてだすしたい」という気持ちきもち」**を実行じっこうに移うつすために、このガイドブックを、ぜひ役立やくたててください。**



身の回りのさまざまな障壁（バリア）

利用者が移動しづらい
道路や公共交通機関、建物など

利用者が機会の均等を奪われている
法令や制度など

たとえば…

- 車椅子利用者の移動の妨げになる歩道の段差や幅の狭い通路
- 車椅子利用者が乗車できないバスや電車
- 視覚障害のある人が買うことができない自動販売機
- 車椅子利用者が入ることができない建物の出入口の段差や回転ドア



など

たとえば…

- 障害により取得できない資格や免許制度
- 賃貸住宅への重度障害者の単身入居の制限
- 手の不自由な人へ直筆を求める制度
- 視覚障害がある人が盲導犬と一緒に入れない店舗

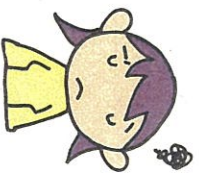


など



たとえば…

- 視覚障害のある人が利用できない家電機器やタッチパネル式のATM
- 聴覚障害がある人に情報が伝わらない音声によるアナウンス放送
- 聴覚障害がある人に情報が伝わらない音による緊急警報や警告
- 知的障害がある人に理解できない難しい案内や文章

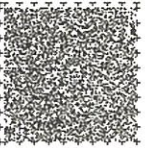


たとえば…

- 心身機能に障害がある人を社会にとって役立たない人とか迷惑な存在と考えること
- 精神障害がある人と犯罪とを短絡的に結びつける発想
- 障害者施設の建設に反対する住民運動
- 心身機能に障害がある人をかわいそうな人と思ひ、一方的に同情すること

障害者が入手しづらい方法による
情報伝達など

社会の中にある意識の壁



こころ 心のバリアフリーを進めよう!



障害や障害がある人について理解を深めましょう!

- 障害の種類や個人の心身機能の障害の程度によっては、支援や配りよの方法が異なります。ある人にとっては手助けになることが、別の人には苦痛となることもあります。
- 自分の考えや思い込みで手助けするのではなく、障害がある人の立場に立って本当に必要なとしている支援などを見極め、判断することが大切です。
- 障害や障害がある人に関する理解を深めるため、研修に参加したり、障害がある人から話を聞くような機会をつくることも大切です。

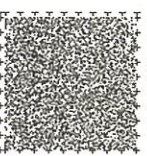


積極的に声をかけましょう!

- 障害がある人の立場でみると、日常生活・社会生活をおくる上では、さまざまな障壁(バリア)のあることがわかります。困った様子の障害がある人などを見かけたら、積極的に声をかけましょう。そして、どのようなことに困っているのか、どのような手助けが必要なのか、本人に確認してみましょう。
- 障害があっても、できるだけ自分の力でやりたいと思っている人もいます。視覚障害がある人や車椅子を利用する人の中には、慣れている場所であれば手助けを遠りよする人もいます。断られてもがっかりしないでください。あなたの優しい気持ちはその人に届いています。

社会ルールを守り、思いやりを持った行動をしましょう!

- 電車やバスなどの優先席付近では、携帯電話・スマートフォンなどの電源を切るようにしましょう。また、優先席を必要とする人(高齢の人や障害がある人など)が近くに立っていたら、優先席を譲るようにしましょう。
- 視覚障害がある人の中には、点字ブロッックを頼りに歩行する人がいます。点字ブロッックの上には自転車を置いたり、点字ブロッック上で立ち話をするのはやめましょう。
- 駐車場の障害者専用駐車スペースには、必要のない人は駐車しないようにしましょう。また、多機能トイレや車椅子・ベビーカー優先エレベーターなども必要のない人はなるべく利用しないようにしましょう。
- 災害や緊急時は、障害の有無を問わず、誰もが協力して危機を乗り切ることが大切です。自分ができることは何か考え、行動しましょう。



障害がある人に 関するマーク

街や施設などでよく見かける障害がある人に関わる
主なマークには次のようなものがあります。
みんなで理解して豊かな共生社会をつくりましょう。

障害者のための 国際シンボルマーク



障害がある人が利用できる
建物や施設であることをわかり
やすく示すための世界共通のシン
ボルマークです。

盲人のための 国際シンボルマーク



世界共通のマークで、視覚障害
がある人の安全を考りよした
建物、設備、機器などに表示さ
れています。

ヘルプマーク



義足や内部障害、妊娠初期
など、外見からはわからなく
ても、手助けや配りが必要な人
のためのマークです。

ほじょ犬マーク



身体障害者補助犬（盲導犬、
介助犬、聴導犬）同伴を受け入
れる施設や店舗であることを示す
マークです。

ハート・プラスマーク



外見からはわかりにくく、
さまざまな誤解なども受けやすい
内部障害・心臓疾患がある人を
示すマークです。

オストメイトマーク



人工肛門・人工膀胱を使用して
いる人（オストメイト）のため
の設備があるトイレに表示され
るマークです。

身体障害者標識



肢体不自由であることを理由
に運転免許に条件を付されている
人の車に表示されるマークです。

聴覚障害者標識



聴覚障害があることを理由に
運転免許に条件を付されている
人の車に表示されるマークです。

耳マーク



外見ではわかりにくい聴覚障害を
示すためのマークで、聴覚障害のある
人がカードなどを身につけています。

山梨県 福祉保健部 障害福祉課

電話 / 055-223-1460

フアクス / 055-223-1464

メール / shogai-fks@pref.yamanashi.lg.jp



この印刷物は、古紙配合率70%再生紙と
ベジタブルオイルインクを使用しております。

